令和８年度石狩教育研修センター

ICT 実技研修講座

１人１台端末活用講座

（応用）



日時　令和８年８月６日（木）１３:００～１６:００

場所　北広島市立東部小学校　２階プレイルーム

講師　恵庭市立恵北中学校　伊　藤　　誠

千歳市立信濃小学校　荒　井　修　那

石狩市立花川北中学校　山　元　悠　綺

0）はじめに

令和 7 年度には次期学習指導要領の改訂に向けた部会等が発足し、議論が本格化しました。令和7年9月に公表された論点整理においては、「ウェルビーイングの実現」や「自らの人生や社会を舵取りする力（エージェンシー）の育成」が重要なテーマとして掲げられています。生成 AI をはじめとするデジタル技術が急速に発展する中、社会の変化に合わせた教育内容の見直しが急務となっており、NEXT GIGA（第 2 期 GIGA スクール構想）への移行期を迎え、すべての子どもに学びを保障する視点を取り入れた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実装がより一層求められています。

私たち教職員が端末を使う場面も大きく広がり、打ち合わせやオンライン会議等、端末を使わない日はほとんどありません。ICT は学びを広げ深める欠かせないツールである一方、新たなアプリの細かな操作に戸惑ったり、日々の授業での活用方法に悩んだりして、負担に感じている先生方も多いのではないでしょうか。教職員のウェルビーイングを保ちながら教育の質を高めるには、汎用性の高いツールを実際に操作し、情報活用スキルを高めていくことが大切です。

本研修では、石狩管内のどの市町村でも活用できる教育版 Canva を使って、授業での意見交流や生成 AI による分類、学習を反復する簡単なアプリ（ゲーム）の作成について学びます。また、Google Classroom を活用したルーブリック評価の効率化にも触れていきます。さらに、AI 搭載型の動画編集ツールである Google Vids の体験や、Google サイトを活用した授業用ポータルサイトの作成についても、演習を通じて実践的に学んでいただく予定です。

普段あまり使わない応用的な操作や機能を扱うため、難しく感じることがあるかもしれません。しかし、理解が深まると授業改善だけでなく校務の様々な場面で役立ち、先生方個人の負担を劇的に減らすことにもつながると考えています。演習の時間を多く取っておりますので、わからないときは気軽にご相談ください。本日の研修が、これからの校務の一助となるよう努めていきます。

恵庭市立恵北中学校

伊藤 誠

Ⅰ）Canva と Google Classroom の授業における応用的な使い方

0 Canva とは？

一言でいうと「デザインの知識がなくても、スマホやパソコンでデザイン性の高い画像や資料が簡単につくれる無料のデザインツール」です。基本は無料で使えます。

石狩管内の全市町村で、教育用 Canva に登録されており、どの市町村に異動しても汎用性のあるソフトといえます。

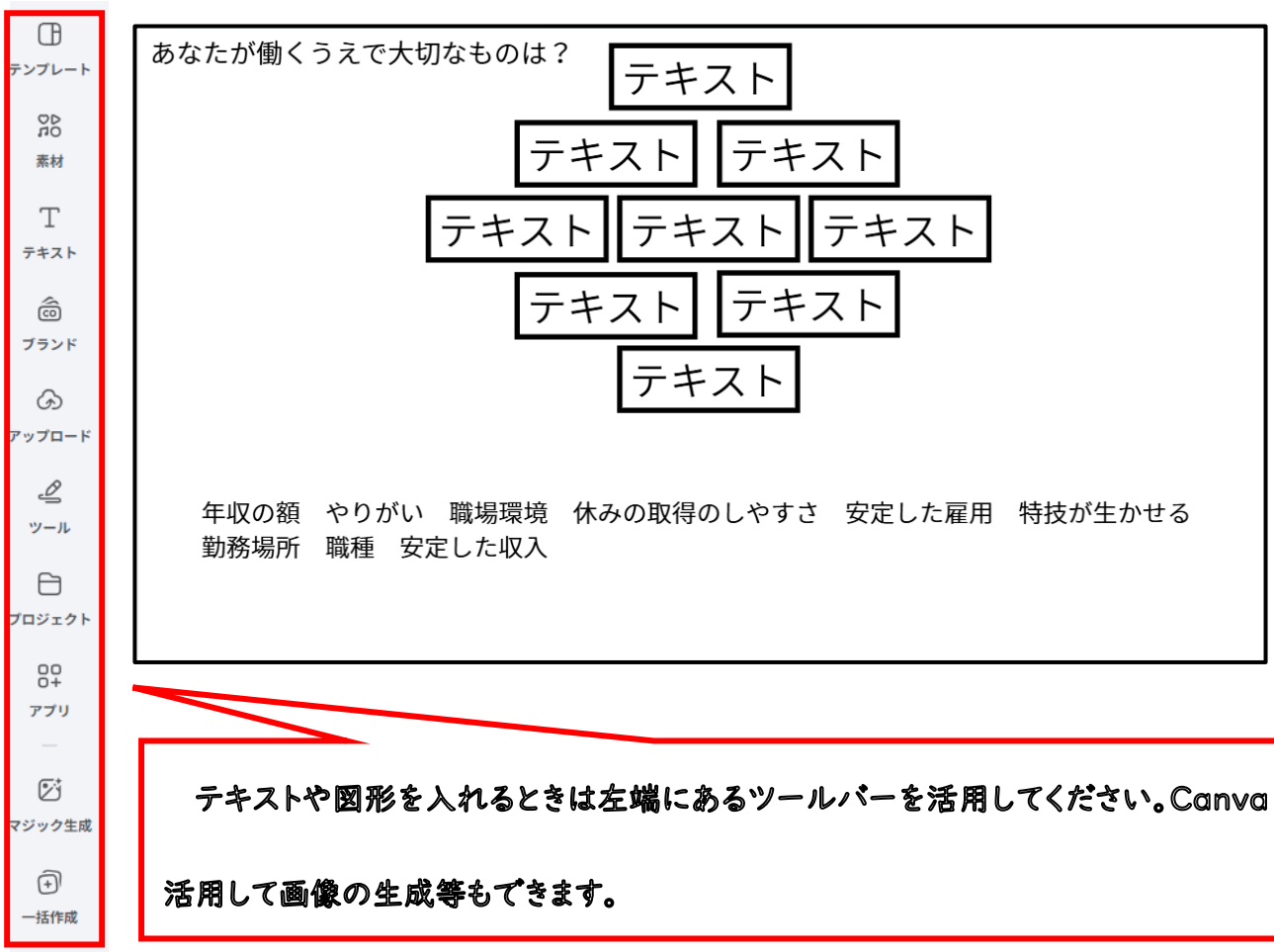
デザイン機能だけではなく、授業の中で様々な活用の仕方がありますので、今日はその活用方法や活用例をご紹介するとともに演習していきます。

1 Canva を活用したワークシートのつくり方

（1）Canva のホームからプレゼンテーションを開く



（2）スライドを利用してワークシートを作成する



テキストや図形を入れるときは左端にあるツールバーを活用してください。Canva AIを活用して画像の生成等もできます。

（3）保存する

Google ドキュメントと同じように作業する毎に自動で保存されます。再度使用する際に保存場所をわかりやすくするために好きなフォルダに移動してください。

※左にあるバーからプロジェクトを選ぶとフォルダを作成することができます。つくったフォルダにスライドを移動させてみてください。





①フォルダを作成します。授業で使う際にはフォルダ分けしておくと、どこにあるのかわかりやすくなります。

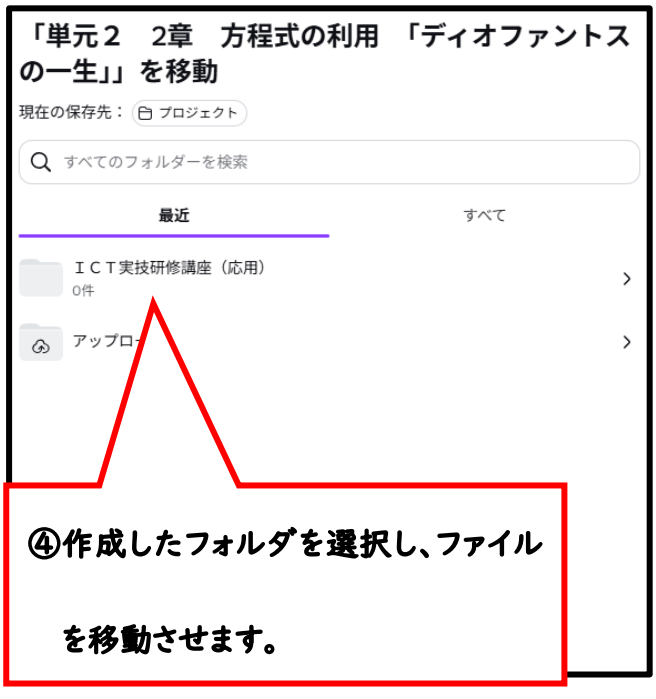
◎ファイルの移動方法



②ファイルを選択します。



③「移動」を選択します。

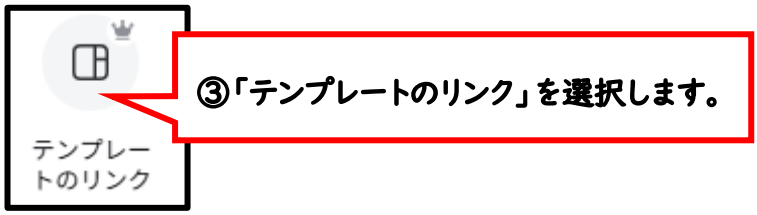


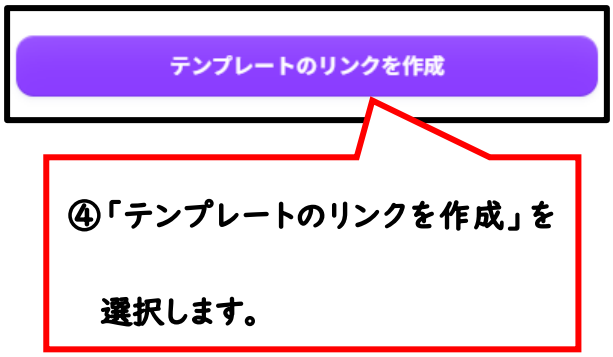
④作成したフォルダを選択し、ファイルを移動させます。

(4) ワークシートを児童生徒に配付する（Google Classroom）













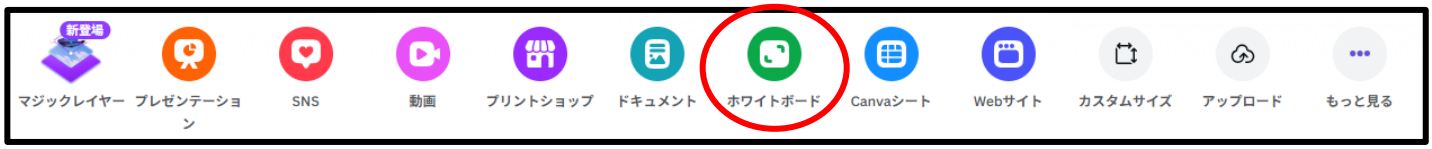
これで児童生徒に、ワークシートのテンプレートを配ることができます。児童性が考えをこのワークシートに記載します。

（演習）児童生徒の立場で、ワークシートに各々の考えを記載しましょう。

2 児童生徒のワークシートを一枚のデジタルホワイトボードに集める（Classroom）

活用場面　**児童生徒の解答を一枚のホワイトボードで共有したいとき**

（1）教職員が Canva ホワイトボードを開く



（2）教職員がホワイトボードの共有をかける



①共有を選択します。



②アクセスレベルを「あなただけがアクセス可能」から「北広島市立小中学校」変更にします（市町村毎に違います）。



③「編集可」に設定します。「コメント可」や「閲覧可」だと児童生徒がホワイトボードにワークシートを貼り付けれません。

④リンクをコピーします。



④リンクをClassroom に貼ります。

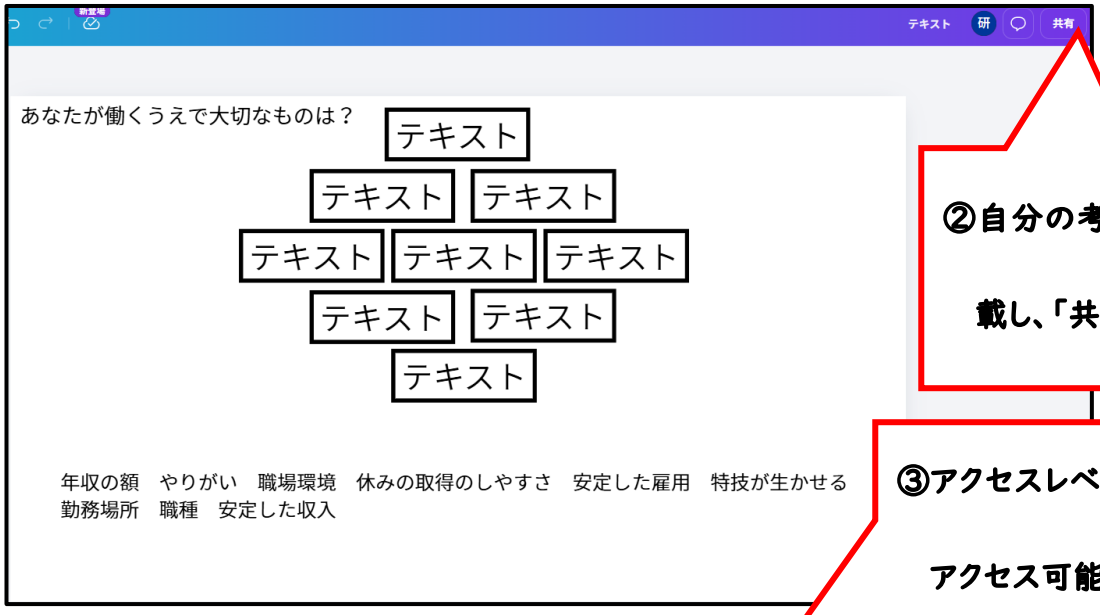
注意事項＆豆知識

・Classroom に貼り付けるときは生徒用ワークシートと共有用ホワイトボードで分けると、児童生徒が迷わないです。

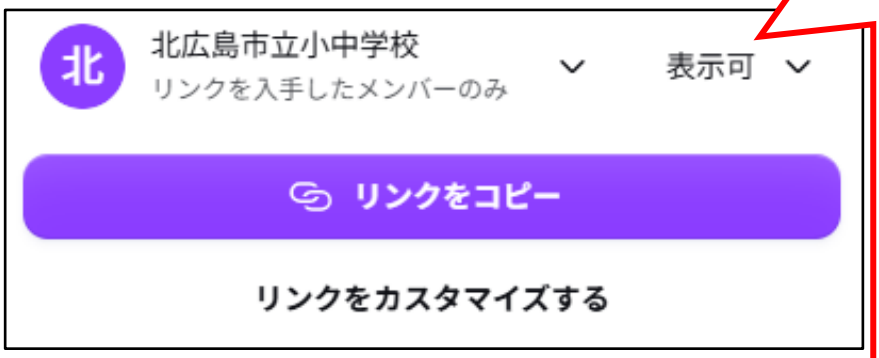
（3）児童生徒がワークシートをホワイトボードに貼り付ける



①生徒用ワークシートのリンクを児童生徒がクリックします。



②自分の考えをテンプレートに記載し、「共有」をクリックします。



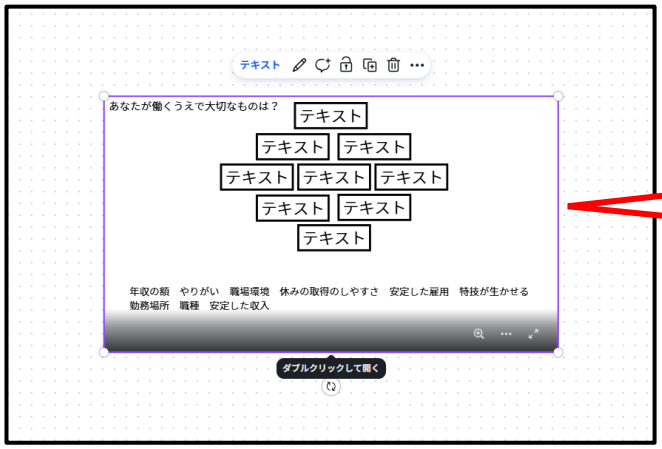
③アクセスレベルを「あなただけがアクセス可能」から「北広島市立小中学校」に変更して（各市町村毎に違います）、児童生徒同士が閲覧のみであれば、「表示可」にします。



④共有用ホワイトボードを開きます。



⑤黒板用ホワイトボードを開き、解答したテンプレートのリンクを貼り付けます。



⑥回答したテンプレートがホワイトボード上に表示されました。

注意事項＆豆知識

・ホワイトボードはどこまでも大きくなります。教職員がツールの図形を使って、児童生徒が貼る場所を指定すると迷わないです。



Canva ホワイトボードです。

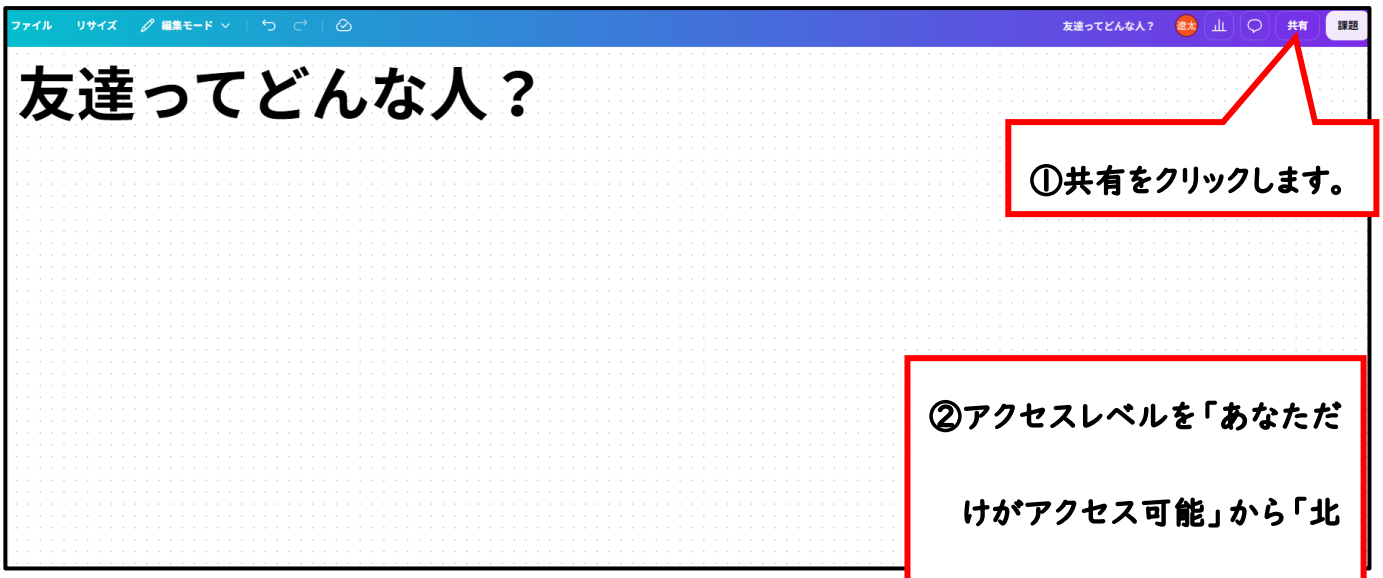
・ブラウザを介して Canva は開かれます。重くなってしまい、動きが悪くなるときがあるので、一斉に貼り付けていくのではなく、個人の考えができた児童生徒から貼り付けていくと動きの悪さは軽減されます。

（演習）児童生徒の立場で自分のワークシートをホワイトボードに貼り付けましょう。

3 Canva ホワイトボードを使って、付箋で集約した意見を分類する

活用場面　**児童生徒の意見を瞬時に整理したいとき。**

（1）教職員がホワイトボードをつくり、児童生徒に共有する（Classroom）

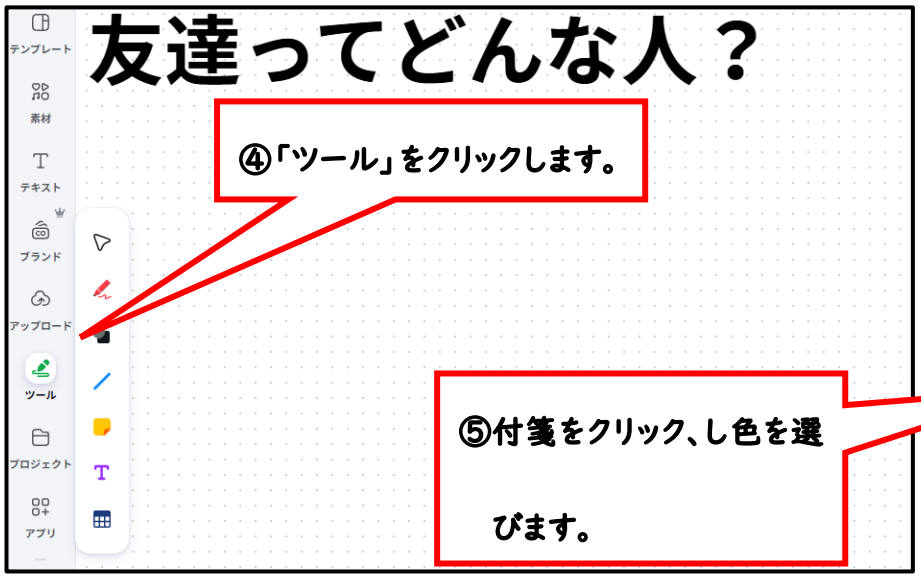


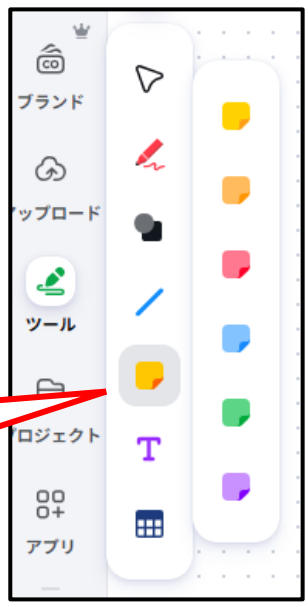


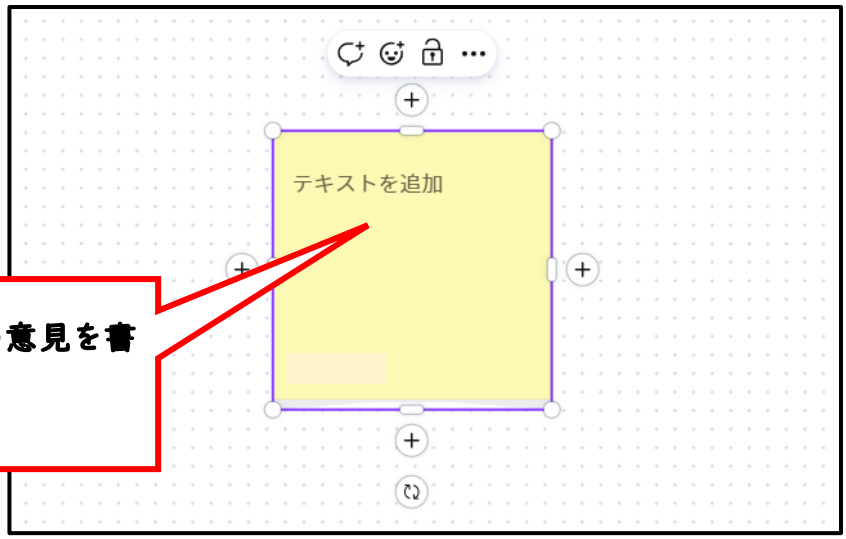
②アクセスレベルを「あなただけがアクセス可能」から「北広島市立小中学校」に変更して（各市町村毎に違います）、児童生徒同士の共有が閲覧のみであれば、「表示可」にします。

③リンクをコピーして、Classroom のストリームに貼り付けます。

（2）児童生徒が付箋に自分の意見を書きます。





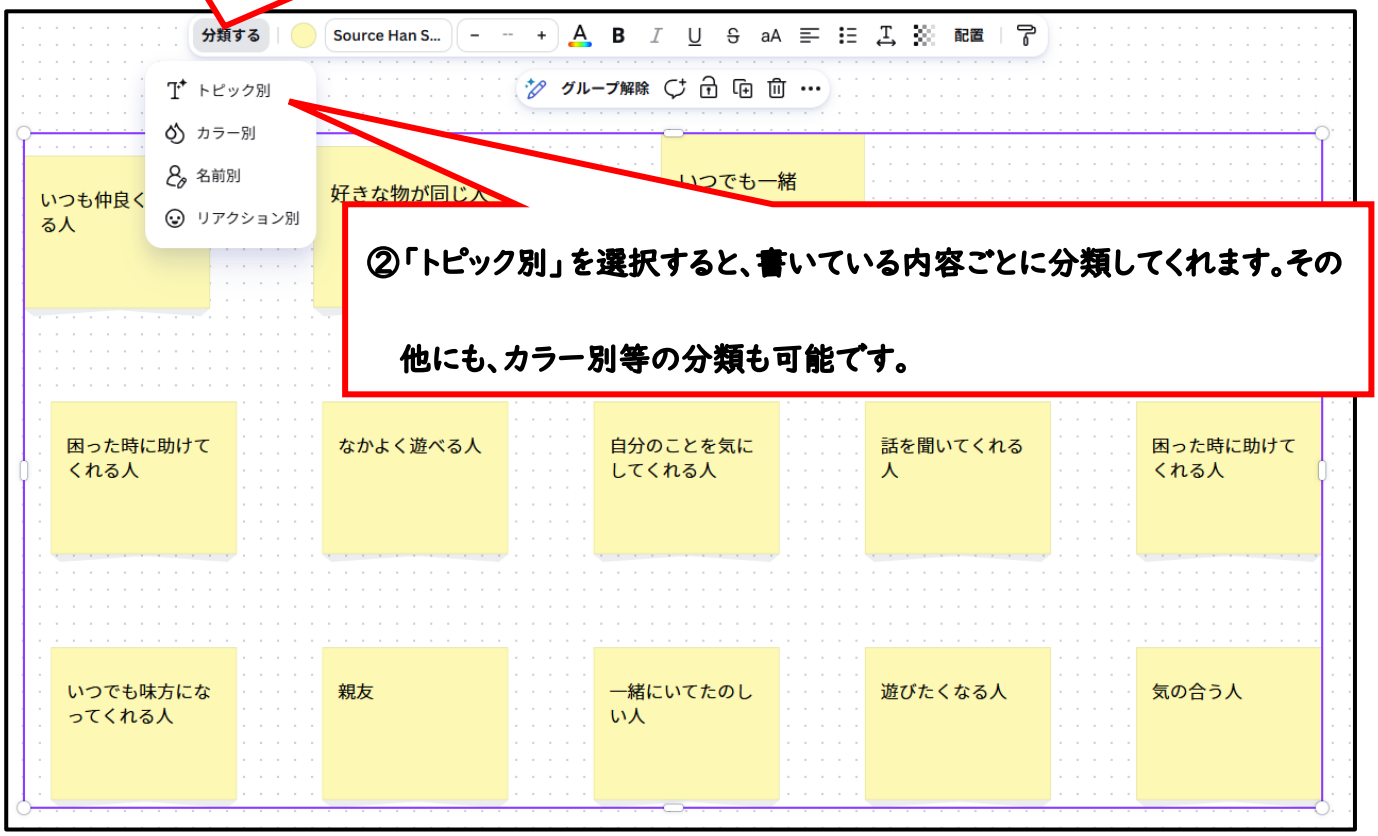


⑥付箋に自分の意見を書きます。

（演習）児童生徒の立場で課題に対しての自分の意見を書いた付箋を共有されたホワイトボードに貼りましょう。

（３）付箋を分類する。

①付箋全体を範囲設定すると、「分類する」というボタンが表示されます。



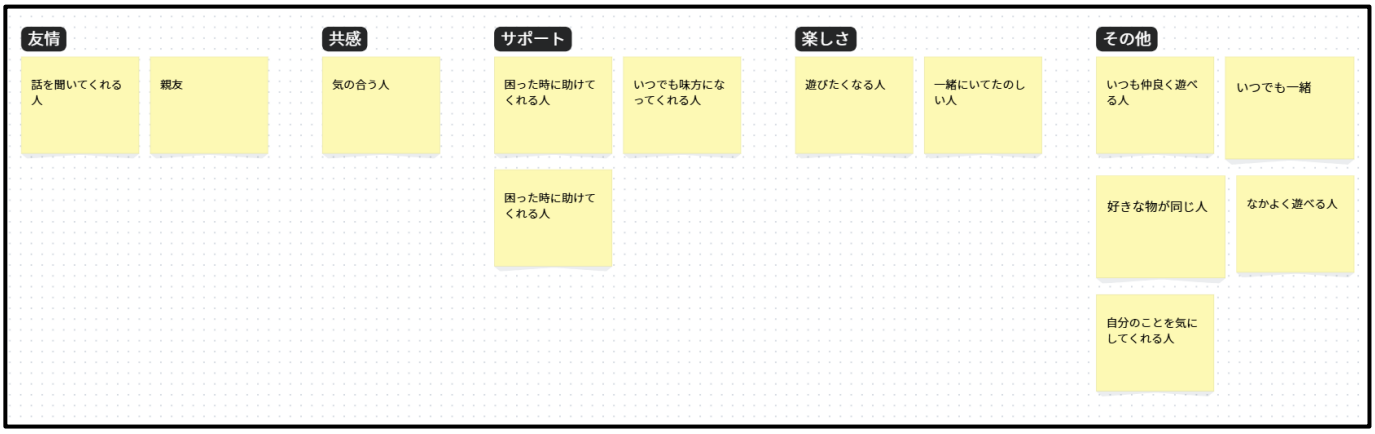
②「トピック別」を選択すると、書いている内容ごとに分類してくれます。その他にも、カラー別等の分類も可能です。

ポイント　１枚の付箋に１つの意見を書くようにすると、うまく分類されやすくなります。

注意事項＆豆知識

・ホワイトボードはどこまでも大きくなります。ツールの図形を使って、児童生徒が貼る場所を指定すると迷わないです。

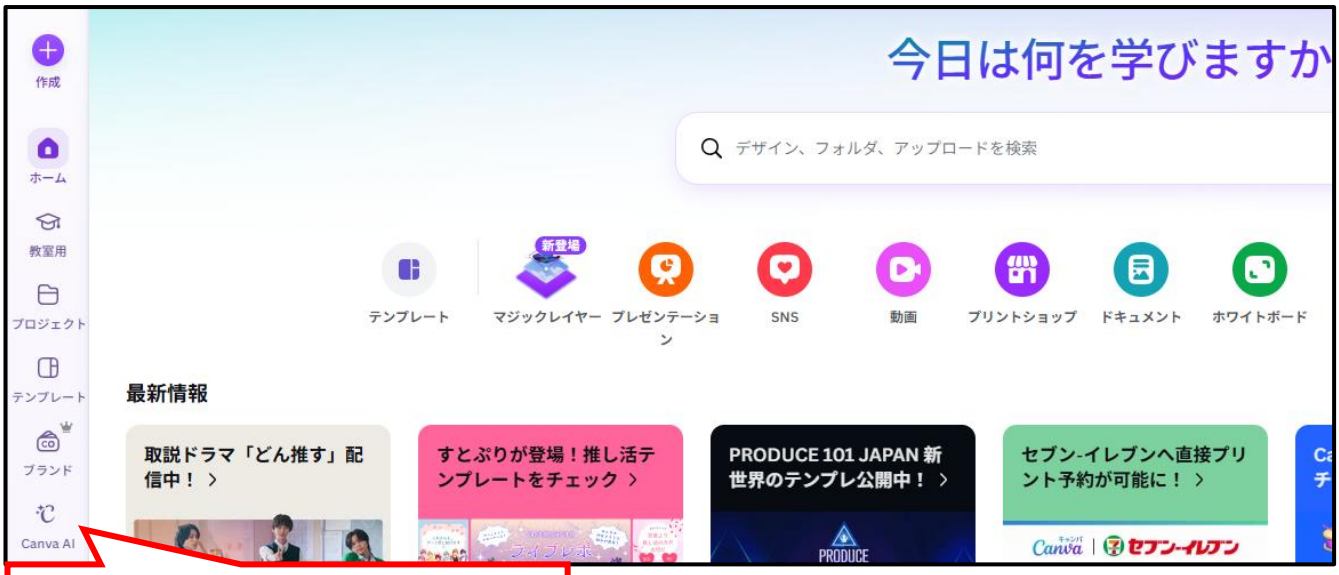
以下のように分類されました。ただし、付箋の分類を確認し移動させる等、生成AIの意見を鵜呑みにしないことが大切です。なお、もう一度分類させると違うラベルの分け方になります。



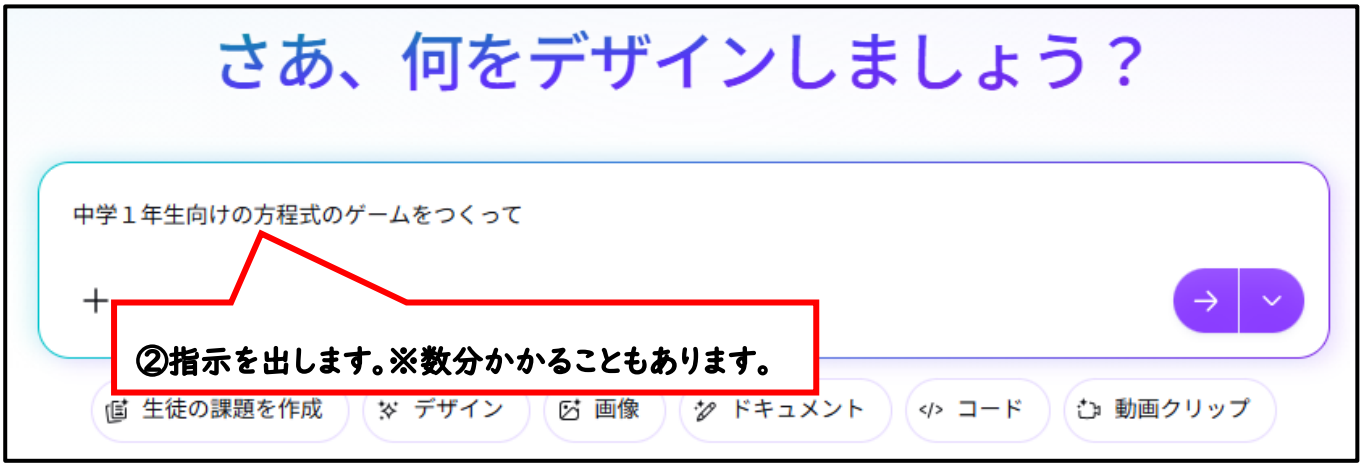
4 オリジナルの学習アプリを作成する

活用場面　**児童生徒にゲーム感覚で反復学習をさせたいときに、簡単に学習アプリの作成ができます。今回は数学を例にしましたが、英単語、ことわざや慣用句等とあらゆる教科で活用が可能です。**

（1）Canva AI に指示を出して、ゲームをつくる



①Canva AI をクリックして開きます。



②指示を出します。※数分かかることもあります。



③完成しました。お試しでゲームしてみましょう。気に入らなかったら、再度 Canva AI に指示を出してください。

（２）子どもに共有する



①「公開」をクリックする。



②Web サイトのリンクをコピーする。

③リンクを Classroom に貼り付けて児童生徒に共有します。

（演習）Canva AI を活用してオリジナルの学習ゲームを作成し、その内容を近くの席の受講者と交流してみましょう。

2）Google Classroom を使ったルーブリックのつくり方

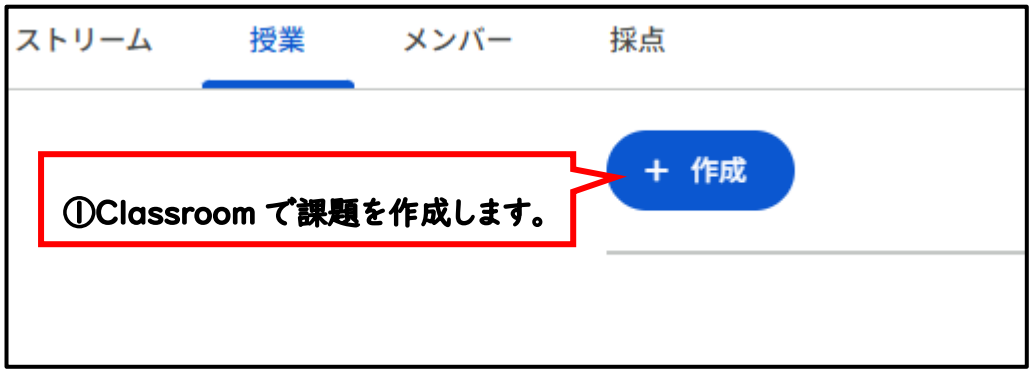
0 ルーブリックとは？

「評価のブレをなくし、採点を公平にするための『評価の基準表』」のことです。個別最適な学びや自由進度学習の促進のために、子ども自身が目指すべきゴールを理解することが必要と考えられています。今回は Google Classroom を活用して、提出された課題のルーブリック評価の方法を紹介します。

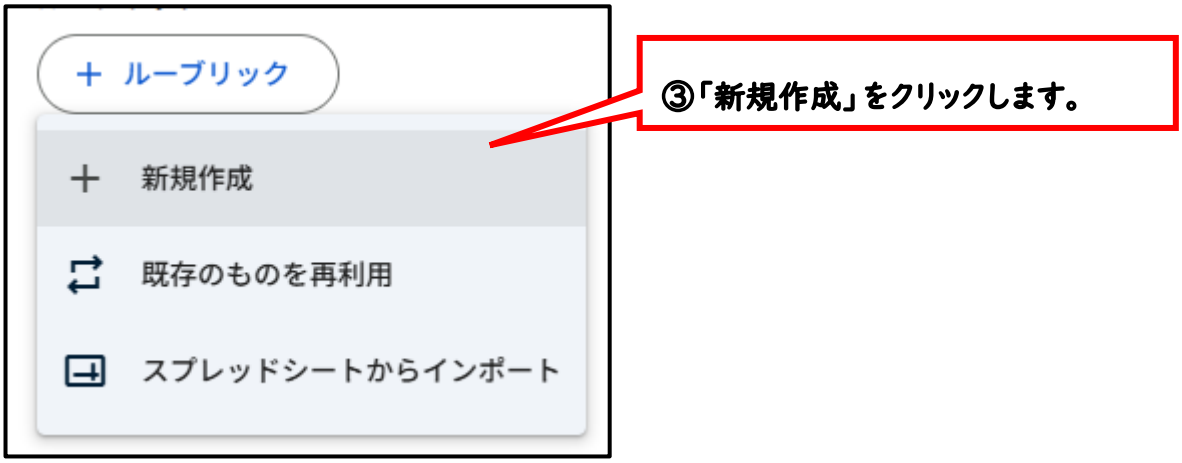
1 ルーブリックを作成する

学習指導要領や各学校の評価規準をもとにルーブリックを作成します。

（1）ルーブリックを作成する









④評価規準の名前を入れる。

⑤ポイントはレポートの点数に関係します。

⑥レベルのタイトルは「A」「B」「C」などの短い物がいいです

⑦説明にはルーブリックを入れてください。

⑧「レベルを追加」をクリックし、次のレベルを作成します。



⑨「評価規準を追加する」をクリックすると次の評価規準が出てきます。

⑩この作業を繰り返してルーブリックを作成します。

⑪完成したら、右上の「保存」を押してルーブリックを保存してください。

豆知識①

・一度ルーブリックを作成した後、保存したルーブリックのメニュー（縦の ３ 点リーダー）から「スプレッドシートにエクスポート」を選択します。Google ドライブ内の Classroom フォルダに「エクスポートしたルーブリックファイル」というフォルダ内にスプレッドシートが作成されます。そのセルの構造を壊さないように、中身の文字や点数だけを書き換えると新しいルーブリックの完成です。その後、新しく課題を作成し、「ルーブリック」⇒「スプレッドシートからインポート」を選び、先程書き換えたシートを選択すると、スプレッドシートでルーブリックをつくることができます。

豆知識②

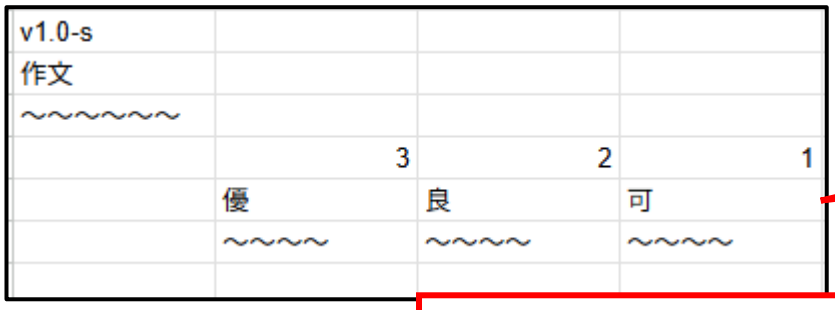
・更に一度作成したスプレッドシートを Gemini Note（旧 NotebookLM）に読み込ませます。ルーブリックの作成のために「学習指導要領」や「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」等も PDF 化して読み込ませます。あとは GoogleNote（旧 NotebookLM）に
「資料を参考に、ルーブリックを作成してください。・対象～・教科「単元名」・評価は三段階（ABC）・1時間ごとに表記・スプレッドシートの形式に合わせてください」【活動内容】・第1時～・第2時～・・・」
等と指示を出すと GoogleNote（旧 NotebookLM）がルーブリックを作成してくれます。
※もちろんファクトチェックが必要です。



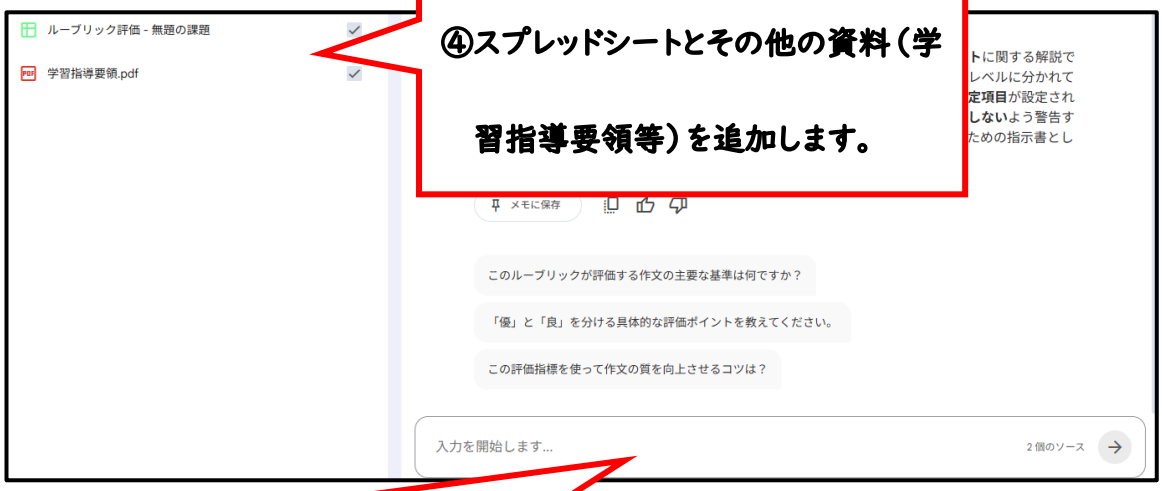
①ルーブリックを作成します。



②「スプレッドシートにエクスポート」をクリックします。



③ルーブリックがスプレッドシートにエクスポートされました。



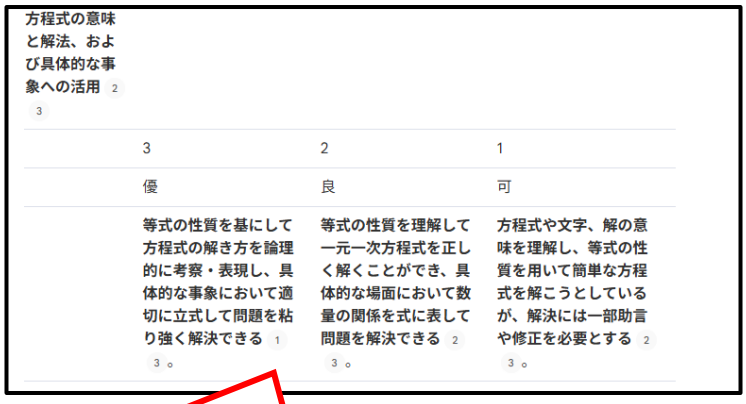
④スプレッドシートとその他の資料（学習指導要領等）を追加します。

⑤指示を出します。

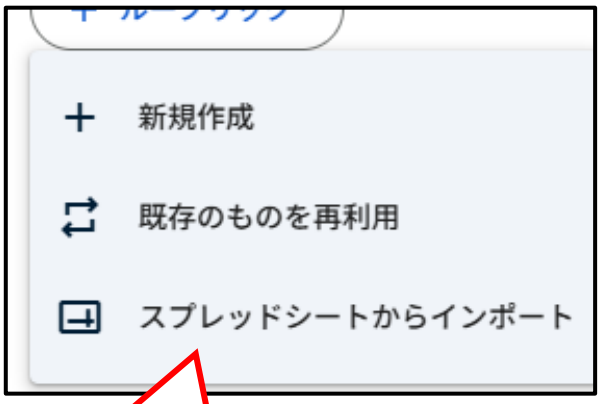
「資料を参考に、ルーブリックを作成してください。

#対象中１ #教科数学 #単元名「方程式」 #評価の方法 三段階（優・良・可）

スプレッドシートでの形式にしてください。～の部分にルーブリックを入力してください。」



⑥出された出力をスプレッドシートの形式に合わせてコピー＆ペーストします。



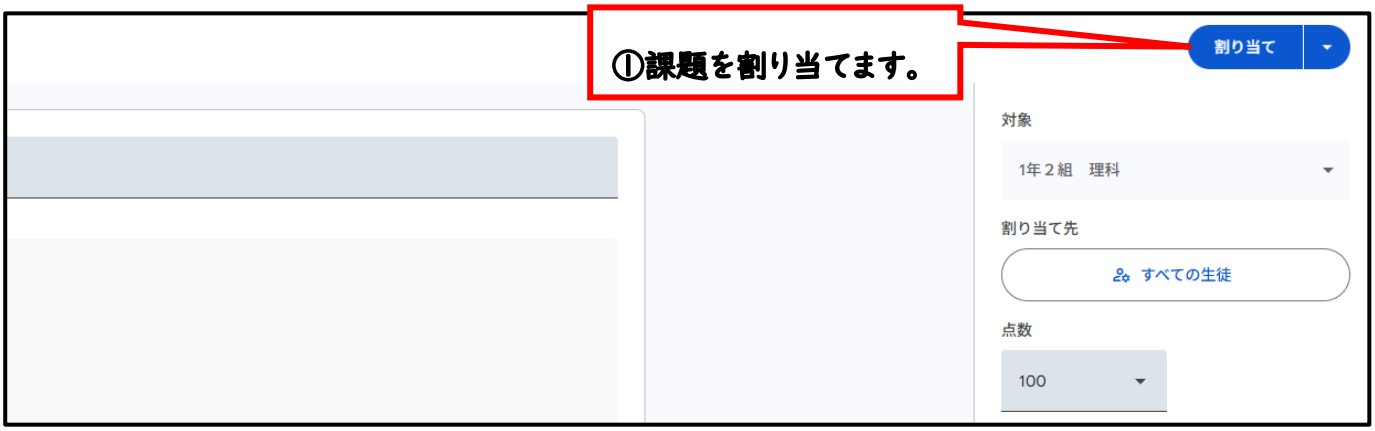
⑦スプレッドシートをルーブリックにインポートします。

⑧ルーブリックが完成しました。



(2) 課題を割り当てる

①課題を割り当てます。



(3) 児童生徒から提出された課題を評価する

3）動画編集アプリ Google Vidsの使い方

0 Google Vidsとは?

Google Vids（グーグル ヴィズ）は、Google が提供する AI 搭載型・動画作成アプリケーションです。

専門的な動画編集スキルや高価な編集ソフトがなくても、ウェブブラウザ上で直感的に動画を作成できるのが大きな特徴です。

主にできることは以下の通りです。

1.Google スライドのような直感的な操作

操作画面の構成や使い勝手が「Google スライド」によく似ているので、比較的簡単に操作ができます。

2. チームでのリアルタイム共同編集

Google アプリなので児童生徒が授業で動画を撮り、その動画を共同編集することも可能です。

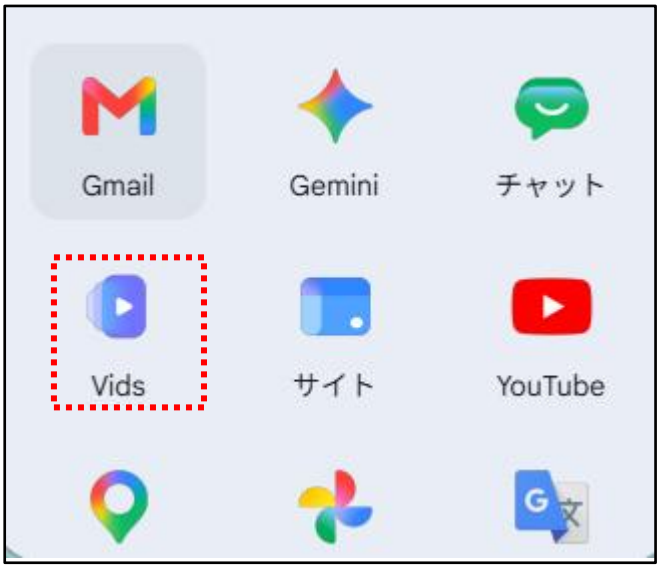
3. 画面録画と自動字幕機能

端末の画面を録画しながら自身の声を入れ、そこに自動で字幕（テロップ）を生成・デザインする機能も備わっています。

1 *Google Vidsを使って動画の作成をする*

（1）Google Vids の起動

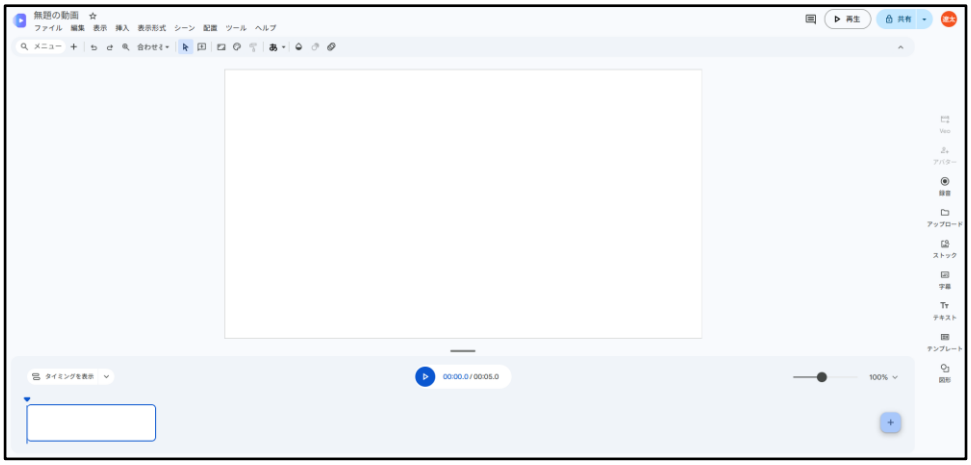
①Google の 9 点リーダーから「Vids」を選択します。



②以下のような画面が出るので、当てはまる物をクリックします。
（今回は「空白の動画」）



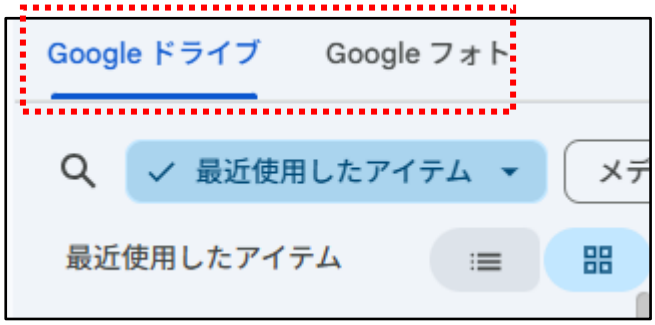
③動画編集を行う基本の画面が出てきます。



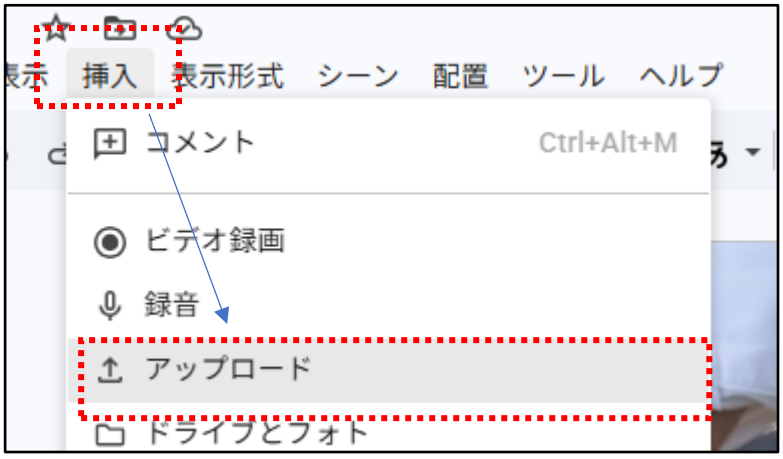
（2）動画や静止画を取り込む

①右端にある「アップロード」をクリックします。

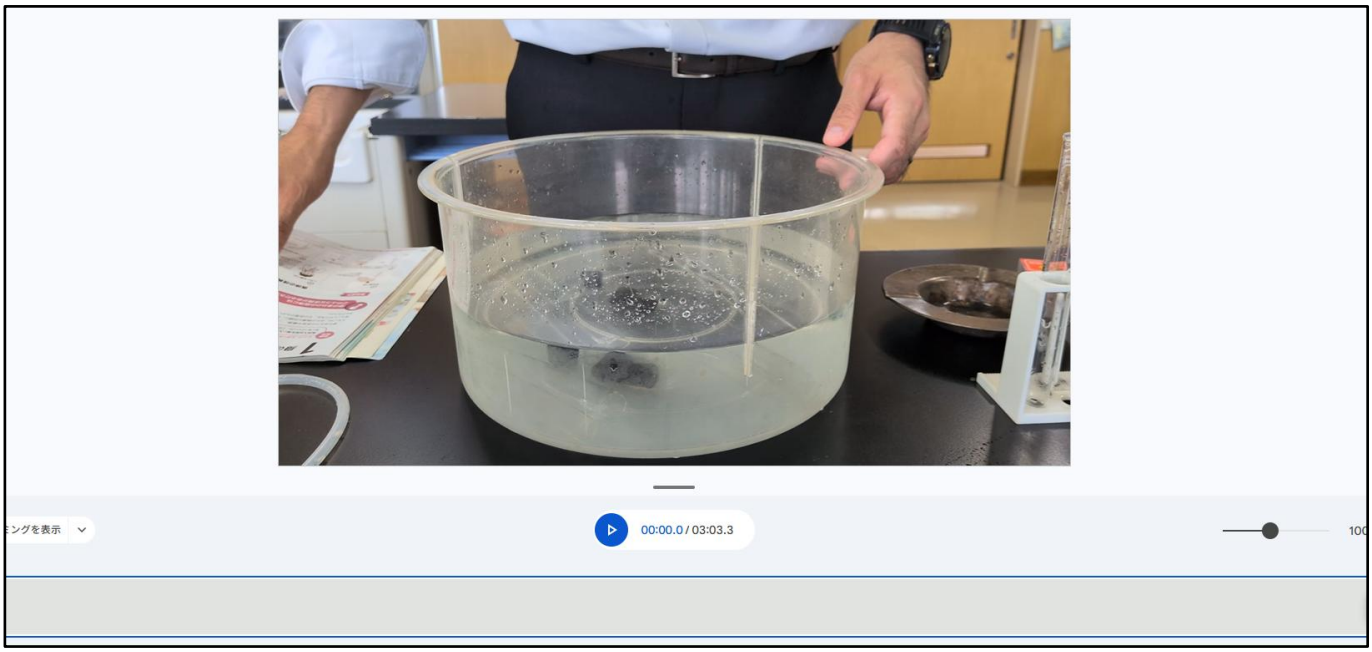
②動画や静止画が入っている場所を選択します（ドライブ内に保存されている素材しか選べません）。



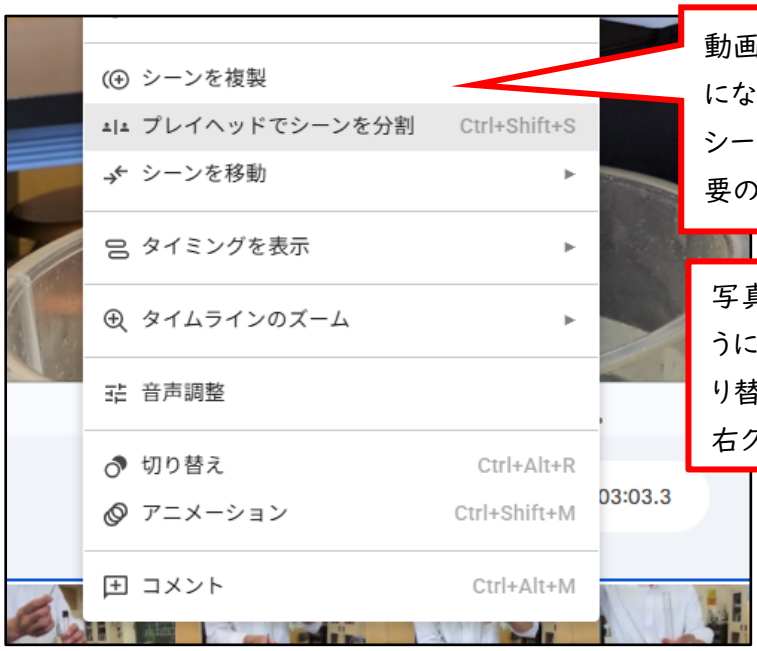
③パソコン内にデータが入っているときは、左上にある挿入をクリックし、「アップロード」を選択して、ファイルを挿入して下さい。



④使いたい動画や静止画が入ります。



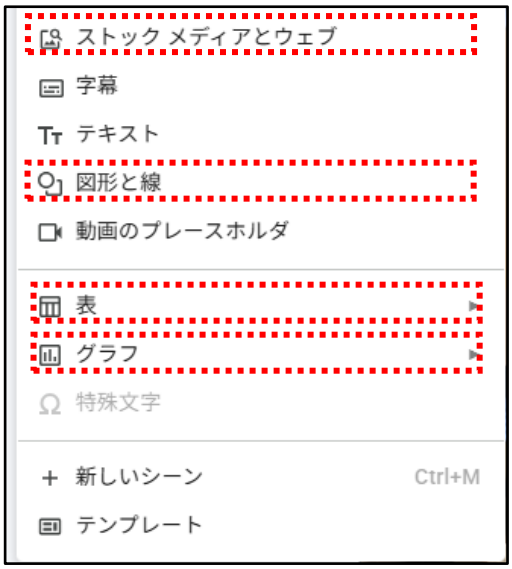
⑤必要ないシーンは分割して DELETE で削除します。



動画や静止画上で右クリックすると、画像のようになりますので、分割の場合は「プレイヘッドでシーンを分割」を選びクリックします。分割後、必要のない部分は DLETE で削除します。

写真などを素材として使った場合は、スライドのようにアニメーションを設定できます。また、画面の切り替え効果や、素材の複製などなども素材上での右クリックからできます。

⑥動画に図形や線、表やグラフを入れたときは挿入をクリックし、入れたいものを選びます。ストックメディアとウェブはもともと Google Vids に入っている素材や、ウェブ上にある素材を挿入できます。右端のバーにもストックや図形というアイコンがありそこからでも素材を挿入できます。





⑦更に動画や静止画を入れたい場合は素材右側にある ＋ をクリックし、シーンを追加します。

⑧新しいシーン上に動画や静止画等を挿入します。

⑨この作業を繰り返して動画を作成していきます。

今までの動画作成ツールとは違い、新しいシーンを追加して、シーンに画像や動画を載せていくというのが、Google Vids の使い方です。

（演習）Google Vids を使って動画をつくってみましょう。分割や挿入等も行ってみてください。素材の動画は Classroom にアップしてあるものや、ストックメディアとウェブをお使いください。

2 *Google Vidsの優れた機能*

（1）自動字幕機能

活用場面 **録画や録音された素材や、アップロードした動画に自動で字幕を付けることができます。児童生徒が作成する行事等のまとめ動画作成や、教職員が作成する動画を字幕を付けてわかりやすくしたいと時に活用できます。**

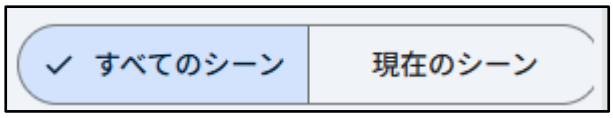
方法 1：アニメーション付きの「おしゃれな字幕」を入れる

①タイムラインに、音声が入った動画や録画データを入れます。

②画面端のサイドバーにある「字幕」をクリックします。



③字幕を適用する範囲を「すべてのシーン」か「現在のシーン」から選びます。



④「単語単位」「行単位」等、表示させたい字幕スタイルを選択します。

⑤スタイルを選ぶと自動的に音声の解析が始まり、「字幕を生成しています」と表示されます。

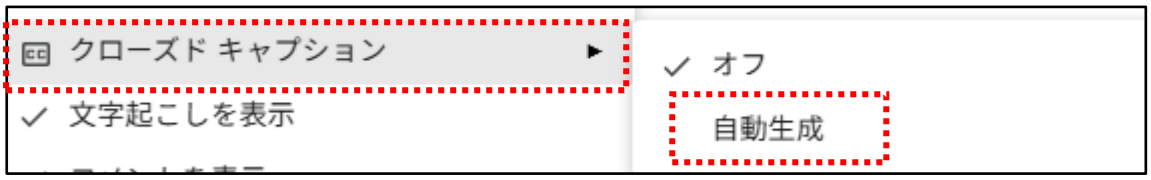
⑥字幕生成完了後、表示位置や大きさは、後から直接ドラッグして調整できます。

方法 2:通常の「オン/オフできる字幕」を入れる

①上部メニューの 「表示」 ＞ 「クローズド キャプション」をクリックします。

②選択肢の中から「自動生成」をクリックします。

③動画の画面下部に自動生成された字幕が表示されます。

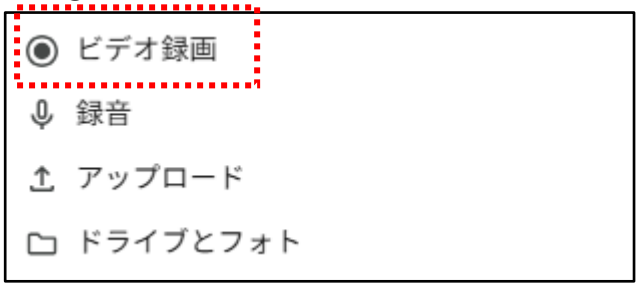


（演習）作成した動画に方法１か方法２で字幕を付けてみましょう。

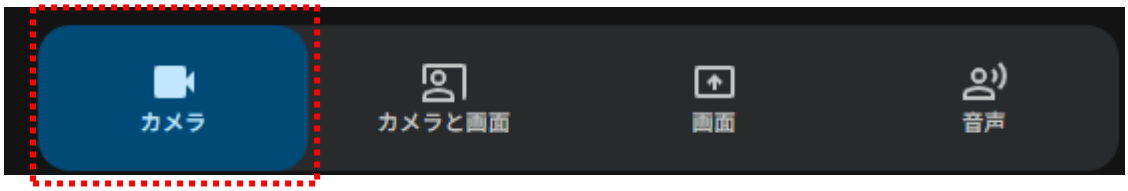
(2) Chromebook で撮影した静止画や動画の編集

活用場面　児童生徒自身が記録した動画や写真を使って、旅行的行事のまとめ動画や、児童生徒の作品発表動画等の作成をさせたい時

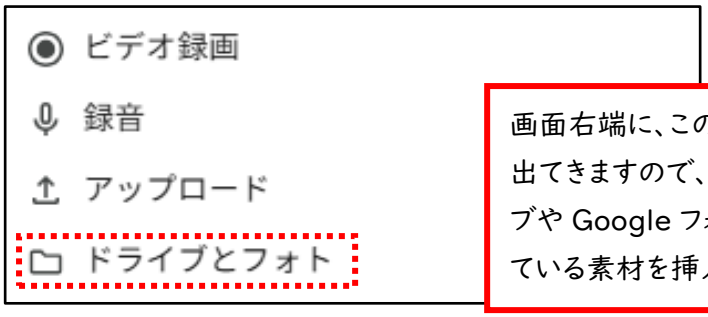
①Google Vids を開き、挿入からビデオ録画で撮影します。



②カメラを選び、Chromebook のカメラから動画を撮影します。



③事前にとった動画を使う場合は、挿入からアップロードを選択肢、ドライブやフォトに保存されている動画や静止画を挿入します。



画面右端に、このような画面が出てきますので、Google ドライブや Google フォトに保存されている素材を挿入してください。



（演習）動画や静止画を Chromebook で撮影し、動画を作成してみましょう。

(3) チームでのリアルタイム共同編集

活用場面　**動画の編集を１人ではなく、複数の人とリアルタイムで相談しながら行えるようになり、動画の作成を分担して行いたい時や、また、児童生徒が撮影した動画や静止画の編集を協働的に作業させたい時に活用できます**

①「共有」をクリックします。



②アカウントに共有をかけます。またはリンクを共有します。



①共有をかけたい人のアカウントを入力します。

※リンクでも共有をかけることができます。



②編集者にします。

③送信をクリックすると共有をかけられます。

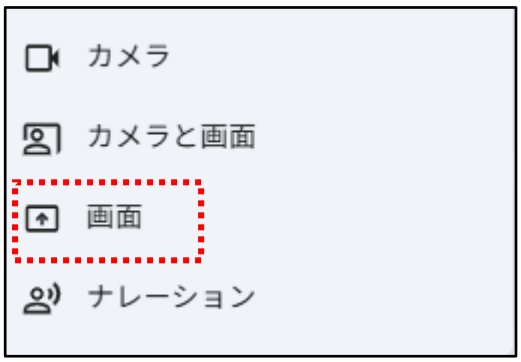
(4) 画面録画

活用場面 **パソコン画面を録画することができます。解説の音声も入れることができるので、児童生徒への作業の説明動画や、問題の解説等の動画をつくるときに活用できます。また、動画の音声も一緒に録音することもできます。**

①録画をクリックします。



②録画オプションから適切なものを選び、記録を開始します。



カメラ・・・・・・・・・カメラで録画します。
カメラと画面・・・カメラで録画をしながら、画面録画も行います。
画面・・・・・・・・・・画面録画を行います。
ナレーション・・・・画面なしで録音のみになります。

※今回は画面録画なので、画面を選択します。

③Chrome タブ、ウィンドウ、画面全体のどれを録画するか決めます。



Chrome タブ・・・GoogleChrome のタブの画面です。
ウィンドウ・・・・・・パソコン上のウィンドウの画面です。
画面・・・・・・・・・・パソコンで開いている画面です。

画面録画する際に、動画の音声も一緒に録音したい場合は、【システム音声も共有する】をオンにしてください。

④「共有」をクリックすると3秒のカウントダウンの後に録画が始まります。

⑤終わったら「共有を停止」（または終了ボタン）をクリックすると、選択していたシーンに録画データが挿入されます。

（演習）パソコンの画面上で説明しているところを画面録画してみましょう。また、画面録画をした動画に字幕を付けてみましょう。

2）Google サイトの活用について

特徴
・Google が提供するシンプルな Web サイト作成ツール
・HTML やプログラミング、デザイン等の専門知識がない人でも簡単にホームページを作成することができる
・共有設定により共同編集が可能
・作成したサイトはタブレット、スマートフォンからも閲覧可能で、あらゆる画面に合わせて表示される
※石狩市のアカウントで作成された Google サイトは、石狩市のアカウントを所有している人しか閲覧することができません。検索しても表示されることはありません。各市町村で制限がありますので、ご確認ください。





Google アプリのファイルも直接表示させることができるため、単元計画やプリント等を掲載することで、児童生徒に単元の見通しをもたせやすくなります。また、授業で使用するファイルのリンクを貼り付けることで欠席した場合やオンラインで授業を受ける場合等にも活用しています。更に、私の場合は実験の動画を貼り付けることもできるので、繰り返し児童生徒のペースで動画を視聴することが可能となりました。

活用場面　授業で使用するファイルのリンクをサイトに貼り付けることで、児童生徒とデータの共有ができます。また、授業だけではなく、学級や学年、行事、部活動と幅広く活用し、場面に応じて保護者とも情報を共有できます。
花川北中学校では、ポータルサイトを活用し、校務の効率化を図っています。

豆知識

(1) サイトに文字やファイル等を挿入するときは・・・

デザインに困った場合は、コンテンツブロックを使うことでレイアウトを整えることができます。





右に表示される「挿入メニュー」から文字、画像、インターネットの情報、Google ドライブにあるデータをサイト内に入れることができます。また、PC に保存されているデータをアップロードすることもできます。

(2) 該当ファイルに手軽にアクセスできるようにするためには・・・

①スライドを直接サイトに埋め込む方法

右に表示される挿入メニューからスライドを選択します。



スライドを選び、挿入ボタンをクリックします。

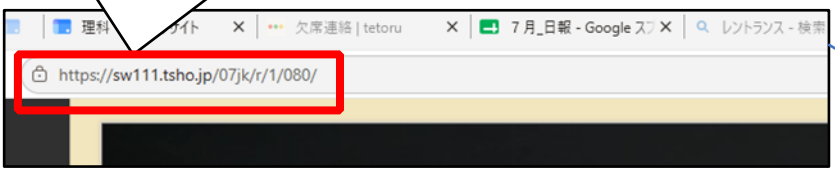


サイトを公開すると、サイト上でページを移動したり全画面表示にしたり等、閲覧可能になります。

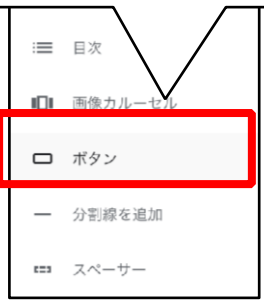


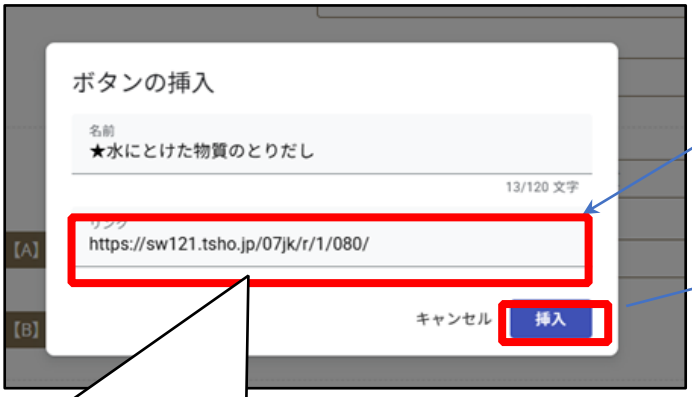
②ボタン機能にリンクを貼り付ける方法

挿入したい動画の URL をコピーする。



右に表示される挿入メニューから「ボタン」を選択します。





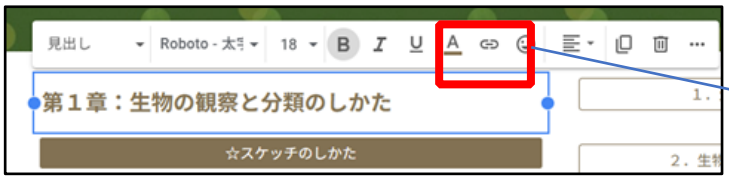


コピーしたリンクを貼り付けます。名前はボタンとして表示された際のタイトルにあたります。

サイトを公開すると、ボタンを押すことで該当のファイルに移動することができます。

③テキストや画像にリンクを貼り付ける方法

※テキストの場合

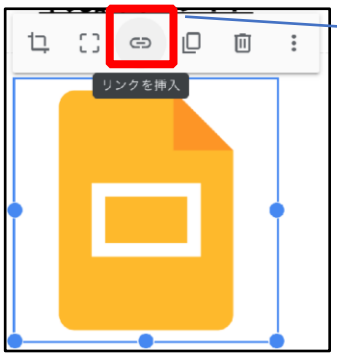


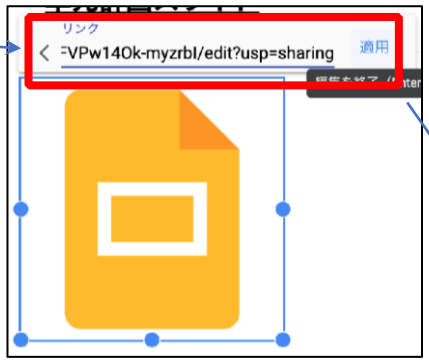


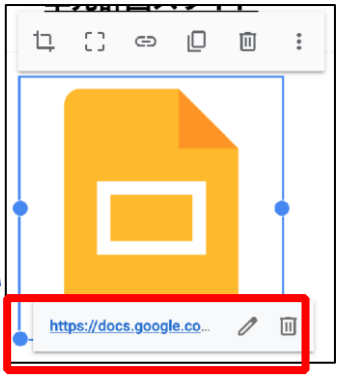


テキストや画像を選択すると「リンクを挿入」ボタンが表示されます。それをクリックして、URL を貼り付けるだけになります。サイトを公開するとテキストや画像をクリックすることで、該当のファイルに移動することができます。

※画像の場合





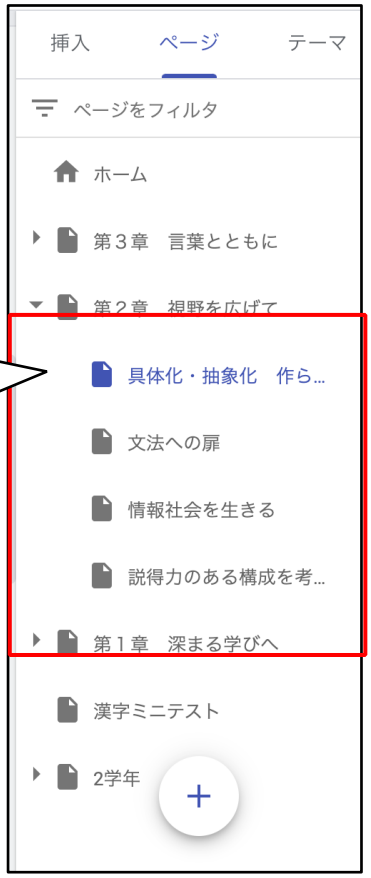


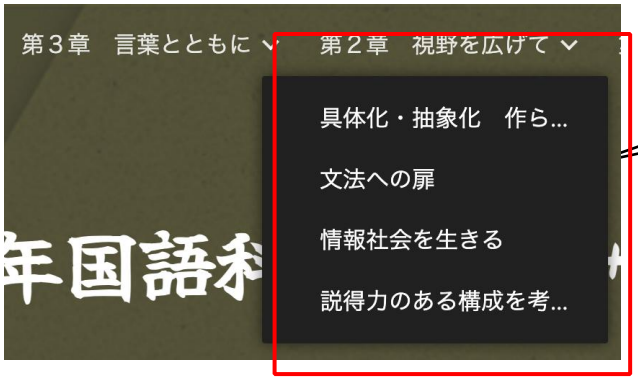
(3) サイト内にページを増やしたいときには・・・



画面の右に表示される「ページメニュー」の一番下にある+マークより、「新しいページ」を選択することで追加できます。

作成したページをページの中に入れ込むことで、自動的に階層化されます。





実際に階層化されると・・・

(4) 作成したサイトを確認したいときには・・・



上記のメニューバーより赤枠のボタンを押すと、公開された時の表示形式を確認することができます。右下のボタンより、スマートフォン、タブレット、パソコンと選択することができます。画像は、スマートフォンによって表示されているものです。



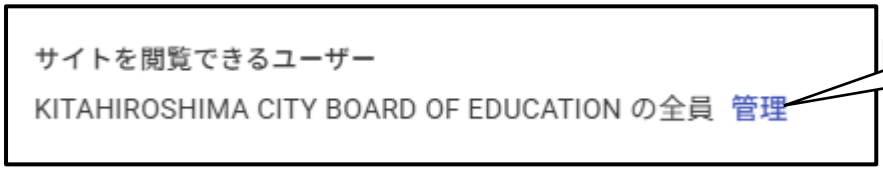
(5) 作成したサイトを公開するときには・・・



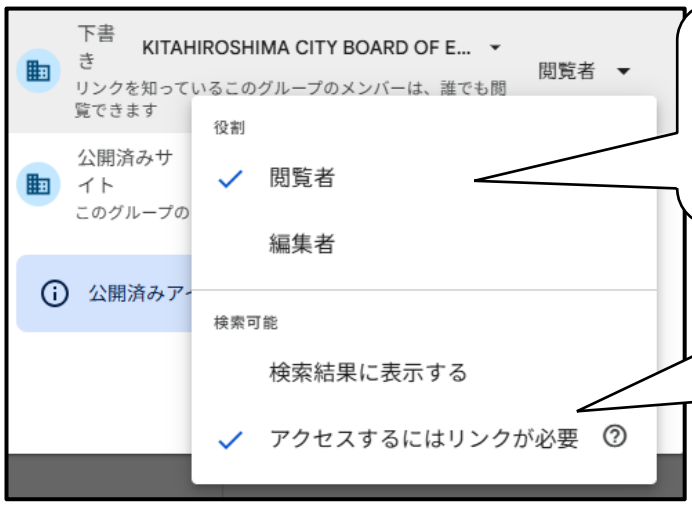
①サイトをつくって、公開をする前は公開設定を選べません。まず、「公開」をクリックしてください。



②ウェブサイトのアドレスを打ちます
例：kitatyu-kenkyu



③「管理」をクリックします。



④「役割」を「閲覧者」にしてください。
※「編集者」にしてしまうと、リンクを知っている人が、編集できるようになります。

⑤Google 等の検索エンジンの結果にこのサイトを出したくなければ、「アクセスするにはリンクが必要」を選択してください。



⑥「検索結果に表示する」を選択しても、市町村によっては、市町村アカウントでなければ、検索結果にヒットしない設定となっています。



⑦一度公開したあとは、このようになります。▽を選ぶと、公開を停止することもできます。公開を停止すると、もう一度公開範囲を設定することができます。

豆知識

・一般アカウントの場合、検索エンジンにて検索されるようにするかチェックボックスで確認されます。また、公開範囲を設定することができますので、使用目的に応じて使い分けることで Google サイトのメリットを最大限に発揮することができます。

（演習）ポータルサイトを作成してみましょう。Google Vids で作成した動画を上げたり、スライド資料をあげたりしてみましょう。

3）おわりに

本日の研修会はいかがだったでしょうか？限られた時間ではありましたが、実際に手を動かしてみる中で、新たな機能に気付いたり、より簡単にできる方法を見つけたりする場面もあったのではないかと思います。演習や交流を通じて、今後の ICT 活用に向けた足がかりとしていただければ幸いです。

私自身、各市町村独自で活用できるアプリの便利さも感じながら、転勤した際には違うアプリの使い方を習得しなければいけないのかと感じることがありました。本日紹介したものは、石狩管内どの市町村でも活用できるものとなっております。是非ご活用いただき、皆様の業務負担軽減や、児童生徒の学びに生かしていただければと感じています。

GIGA スクール構想によって端末の整備が進み、子どもの学びをより深める段階へと移行する中、私たち教職員にも情報活用スキルの向上が求められています。本日研修した内容もすぐに身に付くものではありませんが、授業の中で ICT をどのように活用するかを考え、少しずつ実践していくことが大切だと感じます。子どもが生き生きと学ぶ姿が思い描きながら、活用する場面を考えてみてください。

また、各学校では、ICT に詳しい教職員が作成したデータが共有され、校内で役立っている事例もよく見られます。ICT を学ぶことは多くの時間を要しますが、時間をかけて身に付け、それを学校現場に還流することで、多くの教職員の ICT 技能のレベルアップに結び付くと感じています。

今回の研修が、皆さんの日々の業務を少しでも楽にし、心身ともに充実した働き方につながることを願っています。有効的な活用アイデアがあれば、ぜひ教えてください。

恵庭市立恵北中学校
伊藤　誠